

【施策評価調書】

施策名	2-4-3	食育教育の推進		92	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	92	食に関する知識を学ぶ機会を提供することで、肥満症や生活習慣病の若年化の防止になる。 四季折々の食材を使って食卓を飾るとい、日本本来の食文化子ども達に伝えていくことで、食の大切さを学ぶとともに地域との交流深める。
	担当部課	教育部こどもみらい課	担当 リーダー				
環境変化						食へ物を大切にする教育や、食の安全性と栄養に関する学習機会を、保育園や児童館、学童保育所を通して提供し、食育教育の普及を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)	

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：保育園農園体験年間開催回数(回)	平成16年度 0回	計画	21回	28回	35回	35回	36回
		実績	14回	38回	40回		
指標：乳幼児・児童の食育指導年間開催回数(回)	平成16年度 11回	計画	15回	18回	25回	27回	28回
		実績	38回	17回	21回		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	427,900			
	決算	0	272,799			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
				今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	統合
食育事業費(ひまわり保育園)	当初 188,000	農園体験年間開催数 食育指導年間開催回数 12回 / 12回 8回 / 5回	A	農園体験を通して子どもたち自身が世話をした野菜などを収穫することで、作る喜び、収穫する喜び、食べる喜びを得ることで食への関心が高まるとともに、嫌いなものを食べられるという現象も起きている。食育の推進に多いに貢献していると考えます。			
	決算 198,009			今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	統合
食育事業費(にじいろ保育園)	当初 175,000	農園体験年間開催数 食育指導年間開催回数 15回 / 12回 8回 / 5回	A	農園体験を通して子どもたち自身が世話をした野菜などを収穫することで、作る喜び、収穫する喜び、食べる喜びを得ることで食への関心が高まるとともに、嫌いなものを食べられるという現象も起きている。食育の推進に多いに貢献していると考えます。			
	決算 141,452			今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	統合
食育事業費(のびのび保育園)	当初 183,000	農園体験年間開催数 食育指導年間開催回数 13回 / 12回 5回 / 5回	A	農園体験を通して子どもたち自身が世話をした野菜などを収穫することで、作る喜び、収穫する喜び、食べる喜びを得ることで食への関心が高まるとともに、嫌いなものを食べられるという現象も起きている。食育の推進に多いに貢献していると考えます。			
	決算 128,445			今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	統合

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価 <input type="checkbox"/> 積極的に施策展開されたと評価する。 ただし、後期計画策定に向けて、プロジェクトチームによる各課横断的な取組みが、行われることを期待する。	保育園等の自主的・主体的な取り組みをしていただくこと、公立私立問わず事業の展開を進めていくことで、食育の推進を図る。また、生産者と消費者が身近なところで交流が図れることが子どもたちの食に対する意識があるため多様な方法を展開していく。